

第2分科会 第2分散会 教育課程

【研究課題】 人間力の向上を図る教育課程の編成

【研究の視点②】 社会の形成者としての資質を育成する教育課程の編成

〈研究発表〉 学校・地域の特性を生かした教育課程の編成について

—連携教育活動の実践を通じて—

愛媛県西条市立西条小学校 川上 善秋

〈発表概要〉

21世紀をたくましく生き抜く人間を育成するために、「人間力の向上」を目指した教育課程の編成と実践が提唱されている。そのために「生きる力」をより具体化すること（実社会や実生活との関係で具体化すること、学校と社会との間の共通認識を図ること、現実社会の大人から学ぶこと）の提案がされている。西条市小・中学校は教育委員会と共に、《交流》と《連携》をテーマにした《連携教育》を実施している。内容は、子どもの成長を9年間のスパンで支える小・中学校連携事業と、地域の人々と共に学習する12歳教育（防災教育）の実施である。

- ① 小・中学校連携事業—中学校区単位で、小中学校が連携し、連続性の中で子どもの成長にかかわり支援しようとする縦の連携活動である。
- ② 12歳防災教育—防災に対する理解と認識と実践力を育成するために、地域の方や防災に関した方と共に学習する、地域ぐるみの横の連携活動である。

これら新しい試み（教育課程）を有効に行うための校長の役割と指導性を追求したい。